

第8回

利用者実績
100人以上

高齢者と若者の 縁のある住まい方フォーラム



次世代下宿「京都ソリデール」は平成28年度から京都府が取り組み、今年度で10周年。高齢者宅(持ち家)の空き室を、大学生に低廉な家賃等で提供し、気の合う高齢者と大学生が同居・交流するもので、以前は京都でも多く見られた「下宿」のような懐かしい住まい方です。「下宿」との違いは、マッチング事業者が高齢者と大学生の相性を大切にして同居までに面談を重ねるなど丁寧にマッチングをし、同居後もしっかりとフォローを行うことなど。この住まい方について、この機会に一緒に考えてみませんか。

次世代下宿「京都ソリデール」事業について

京都府職員が、「京都ソリデール」について、詳しくご説明いたします。

講演

家族社会学、作業療法学、住宅計画学の専門家から、異世代ホームシェアについて講演いただきます。

日本で広がる異世代ホームシェア

日本大学教授 久保田裕之氏

京都ソリデールの実態とそれぞれの世代に与える影響

令和健康科学大学講師 川崎一平氏

シニアと学生のソリデール・ライフ～共に暮らすためのヒント～

京都女子大学准教授 是永美樹氏

※異世代ホームシェア:高齢者と若者が一つの家に他人と同居し交流を図る住まい方で「京都ソリデール」も該当します。

クロストーク

「京都ソリデール」の10年間の評価や、これからを専門家の皆様がクロストークします。

講演の登壇者

岐阜工業高等専門学校助教 和田露氏

応用芸術研究所代表取締役 片木孝治氏

日時 9月27日(日) 13:30～16:30
(開場 13:00)

会場 京都府庁 旧本館 旧議場 京都市営地下鉄「丸太町」徒歩10分

参加 定員60名(先着順)、参加無料、要申込

感染症の拡大状況や天候により、延期、中止、開催方法の変更等の場合があります。

申込みは9月22日(火)迄に

申込先 京都府住宅政策課

フォーム <https://forms.cloud.microsoft/r/2RkxhnbUwS> QRコード→

①お名前と②参加人数③連絡先をフォーム、電話、FAX又はメールにてお知らせください。

京都ソリデール

検索

TEL 075-414-5358

FAX 075-414-5359

MAIL jutaku@pref.kyoto.lg.jp



登壇者プロフィール



久保田裕之氏
KUBOTA HIROYUKI

日本大学文理学部教授。博士（人間科学）。家族社会学等を専門とし、シェアハウス、コレクティブハウスといった家族ではない他人との共同生活実践に関する理論的・実証的な研究を行っている。著書に『他人と暮らす若者たち』など、論文に「EUにおける高齢者と若者の共同生活の試み：ホーム・シェアリングの国際比較に向けた調査報告」などがある。

是永美樹氏
KORENAGA MIKI

京都女子大学家政学部准教授。博士（工学）、一級建築士、NPO法人古材文化の会副会長。専門は住宅計画、建築計画、建築設計。他者とつながる場としての「住まい」の可能性、継続性について研究を行っている。論文に『住まいを開放した高齢者の居場所づくりに関する研究－京都市内の事例調査－』『世帯構成に応じた家庭文庫としての住まいの開き方に関する研究』などが、共著書に『座りたくなる住宅～居場所から広がる住宅の設計～』などがある。



川崎一平氏
KAWASAKI IPPEI

川崎一平氏令和健康科学大学 講師博士（情報学）、作業療法士、NPO法人地域共生開発機構ともつく理事。異世代ホームシェアをはじめ、高齢者と若者の交流や地域共生に関する研究に取り組む。論文に『異世代ホームシェアリングにおける共生の在り方に関する研究』、『異世代ホームシェアは在宅認知症ケアに何をもたらすのか－当事者たちの関係性の変容に着目して－』などがある。



和田 露氏
WADA FUKI

岐阜工業高等専門学校助教。博士（学術）。2016年の京都ソリデール事業の創設時から7年間、マッチングを行う学生チームを牽引。異世代同居を行う学生・高齢者の生活のサポートや異世代での暮らし考えるイベントを企画。専門は建築史・都市史。博士論文「京都市における小売市場の成立と展開」、著書に『自分の街をつくるには』などがある。



片木孝治氏
KATAGI KOJI

株式会社応用芸術研究所代表取締役。京都ソリデール事業の創設時からマッチング業務を担っている。有志の大学生と地域滞在型プロジェクト河和田アートキャンプ、竹田Tキャンプを通して、地域における次世代の担い手づくりに取り組んでいる。大学卒業後、民間建築士事務所勤務、京都精華大学特任准教授を経て、現在は総務省地域力創造アドバイザーを務める。

